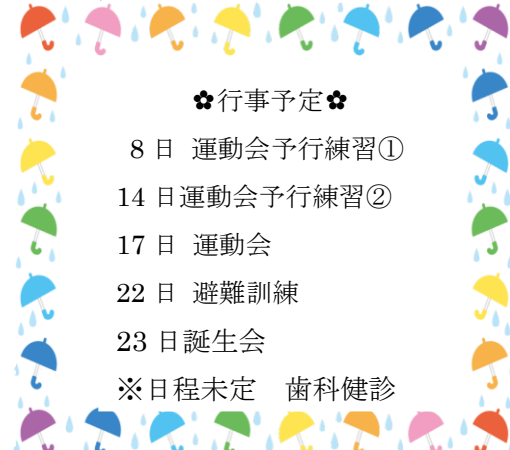


6月の園だより

ようとう保育園

Tel:028-612-2461

2023年5月30日



✿行事予定✿

- 8日 運動会予行練習①
- 14日 運動会予行練習②
- 17日 運動会
- 22日 避難訓練
- 23日 誕生会

※日程未定 歯科健診

雨の多い季節となりました。戸外あそびが大好きな子どもたちにとっては少し残念な季節ではありますが、雨の日が続いた時は、室内で体を動かしたり、大きな声で歌ったりなど室内あそびが楽しめるよう工夫しながら過ごしていきたいと思います。また、湿度が高くなり細菌が増殖しやすくなる季節は食中毒や感染症が心配です。外から帰ったときやトイレの後など、こまめに手を洗うことで予防していきましょう。

***毎月、各クラスの前月の子どもの姿、今月のねらいを紹介します。**
「ようとう保育園」のホームページのブログやギャラリーと併せてお読みください。



クラスのようす



つくし組

晴れた日には日差しや時間帯を考慮し、テントを張ったり暑さに留意しながら外気浴を楽しんでいます。好きな玩具を手にとって鳴らす子どもたちに「固いね」「きれいな音だね」と共感の言葉をかけると、自然と笑顔が見られ、一人ひとりの様子に保育士も癒されています。洗面器に水を入れると手でパシャパシャと音を出したり、ひっくり返してみたりなど…水あそびも楽しめるようになってきました。引き続き心地よい風や光など、良い刺激となるような環境を整えながら、一人ひとりの発達に合わせて関わっていかうと思います。

・・・ねらい・・・

保育士との安定した関わりのなかで、興味のあるあそびや発達に合ったあそびを十分に楽しむ。

たんぽぽ組

戸外あそびが大好きな子どもたち。靴を手にしたたり、ロッカーを指差しして“帽子を取って”とアピールしています。準備ができるとすぐに探索あそびを開始。ありやてんとう虫、だんごむしにも興味津々。そっと覗いたり、指で恐る恐るつついてみたり、ダイナミックに手で触ったり…反応は様々ですが、生き物との触れ合いを楽しんでいます。また気温の高い日はたらいに水を用意すると、周りに集まってきて水面を叩いて水しぶきを浴びたりコップや玩具で水をすくったりと水の心地よさを感じながら自由に楽しんでいます。

・・・ねらい・・・

保育士に見守られながら、好きなあそびや体を動かすことを楽しむ。

つばめ組

タオルのしっぽをつけた保育士を子どもたちが追いかけるしっぽ取りゲームやあぶくたつたなど、簡単なルールのあるあそびを楽しめるようになってきました。「まてー」「こっちだよ」と言い合いながら保育士や友だちと体を思いきり動かしあそんでいます。まだ一人あそびも多いですが、同じ玩具であそぶ子が気になり近くへ行ってみたり、「入れて」「一緒にあそぼ」と声をかけることも増えてきました。時には相手に思いが伝わらずぶつかることもあると思いますが、保育士が間に入りお互いの気持ちを聞き丁寧に関わっていくことで、相手の気持ちを知るといことも学んでいってほしいと思っています。

・・・ねらい・・・

保育士に手伝ってもらいながら、簡単な身のまわりのことを自分でやってみようとする。

うぐいす組

追いかけてこやかくれんぼ、泥あそび、虫探しなどのあそびを気の合う友だち同士で楽しんでいます。最近では、「あぶくたつた」などのルールのあるあそびもしています。玉入れやダンス、かけっこなどの運動会に向けての活動も子どものペースで楽しみながら取り組んでいます。身のまわりのことは、保育士に見守られながら挑戦しています。一人でできないことは「手伝って」と声に出して伝え、自分でできたら「一人でできた」と嬉しそうに教えてくれます。少しずつですが自分でできることが増えてきているので、子ども自らがやりたい挑戦したいと思える環境を作り、自分でできた喜びを実感できるように、やる気を引き出していききたいと思います。

・・・ねらい・・・

運動会に期待を持ち、体を動かすあそびを十分に楽しむ。

ふじ組

自分のことだけでなく、周りの友だちに対しても「ふじぐみさんお片付けの時間だよ」「ご飯の後はうがいするんだよ」とお互いに声を掛け合いながら身のまわりのことをすることが増えてきました。運動会に向けた活動でもパラバルーンの持ち方を隣同士で確認し合ったり、リレーでは走ってくる友だちに「○○ちゃんこっちにバトンちょうだい」と声を掛けてスムーズにバトンパスができたりと協力しながら楽しむ姿が見られます。引き続き楽しみながら運動会に向けて活動していきたいと思います。

・・・ねらい・・・

友だちと協力し合いながら皆で活動する楽しさを味わう。

さくら組

おたまじゃくしの飼育を始めました。「大きくなったんじゃない?」「もう手足生えた?」と毎日ワクワクして水槽をのぞきこんでいます。命の大切さに気づいたり、世話を通して役割意識や責任感が芽生えていくように願っています。運動会に向けた活動では、年長児らしく年下の子をリードする姿が見られ、「リレー負けたからもう一回やりたい!」と子ども同士で自主練習が始まる姿にも成長を感じています。負けた悔しさ人前に立つ緊張感、それらを乗り越えた喜びなど様々な感情を味わい、当日での達成感に繋がるように一人ひとりに寄り添いたいと思います。

・・・ねらい・・・

運動会に期待感を持ち、保育士や友だちと体を動かすことの充実感や目的の達成感を味わう。

